

【資料1-2】

(別紙 1)

現行ネットワーク及びサーバー仕様

1 サーバー本体仕様

- ①ベースユニット(3.5 インチ/495W 電源×1)以上とする。
- ②本体形状はタワー型とし、幅 220mm×奥行 605mm×高さ 440mm 以内とする。
- ③搭載 CPU Intel Xeon プロセッサ 2.40GHz,6 コア以上とする。
- ④搭載記憶容量 (HDD/SSD) は、実利用領域がメインサーバー 6TB 以上 サブサーバー1TB 以上とする。
- ⑤アレイコントローラは、RAID5 以上、ホットプラグ対応とする。
- ⑥グラフィック表示機能は、1024×768 以上とする。
- ⑦ネットワークインターフェースは、1000BASE-T 以上とする。
- ⑧キーボード/マウスは、標準添付とする。
- ⑨光学ドライブは、DVD-ROM 以上とする。
- ⑩USB インターフェースは、3.0×4 ポート以上、計6 ポート以上
- ⑪ハードウェア監視ソフトウェアが標準添付であること。
- ⑫エネルギー消費効率は、2021 年度基準以上とする。
- ⑬標準保証は、5 年間の当日訪問保守のメーカー認定を受けた者が対応すること。
- ⑭1024×768 以上表示可能な液晶ディスプレイを添付すること。
- ⑮サーバー本体の電源管理機能を有する UPS (無停電装置) を添付すること。
詳細は、「本体仕様書」のとおり

2 サーバー構成/機能

- ①OS は、Windows Server 2022 Standard とする。
- ②Active Directory (認証機能) は必須としないが、階層構造になっている共有フォルダへのアクセス権については課若しくは担当により管理を行うこと。
- ③メインコントローラーの冗長化 (メイン・サブサーバーの2 台構成) とすること。
- ④既存ファイルサーバーからのデータ移行をすること。
- ⑤福祉人材課の Windows Storage 共有フォルダデータを新サーバーへ統合すること。
- ⑥共有フォルダのフォルダアクセス権を現行サーバー設定と同一とすること。
- ⑦共有フォルダを外部ストレージへのバックアップ (日次・週次) 環境を構築すること。
- ⑧新サーバーにアンチウイルス『Trend Micro ApexOne』をインストールすること。 ※1
- ⑨既存クライアント (120 ライセンス) の『ApexOne』の更新、保守を行うこと。 ※1
- ⑩サブサーバーに仮想サーバー環境を構築し、SKYSEA Client View 環境を設定すること。
- ⑪既存 SKYSEA サーバーからデータ移行をすること。 ※2
- ⑫既存 SKYSEA クライアント調査を実施しデバイス制御状況を本会に提示すること。 ※2
- ⑬新 SKYSEA サーバーに本会から提示のデバイス制御環境を構築すること。 ※2
- ⑭クライアントに SKYSEA IT 資産管理設定が反映されていること確認すること。 ※2
- ⑮UPS (無停電装置) の管理コンソール機能を設定すること。

3 サーバー搬入設置／廃棄

- ① 既存サーバーラック（4階・6階）に設置すること。※現サーバーラックでも可
- ② 既存業務への影響を最小限にする為に、設置日・時間帯を本会の担当者と協議すること。
- ③ 既存サーバーラック内の機器を本会の担当者と確認し不要な機器を搬出すること。
- ④ 整理後のサーバーラック内の機器全てに識別用管理シールを貼付すること。
- ⑤ 搬出した不要機器を本会の担当者と協議し廃棄方法を検討すること。
- ⑥ 既存サーバーは一定期間本会に保管後、引き取ること。
- ⑦ 既存サーバーは引取り後にデータ消去を実施し廃棄証明書を発行すること。
- ⑧ 搬入時の梱包材は入札業者が回収、適切に破棄すること。

4 導入スケジュール

- ①環境構築及び導入スケジュールは本会の担当者と協議のうえ取り決めることとする。
- ②本稼働開始は、令和5年4月1日からとすること。
ただし、機材の搬入等により履行が困難な場合は、令和5年4月1日より現行のファイルサーバーによるネットワーク保守をしつつ、令和5年9月30日までに移行を完了させるものとする。その場合の4月1日からの費用は決定業者が負担すること。
- ③本稼働後の一定期間は本会内に待機すること。
- ④新サーバーの環境設定書を作成し納品すること。

5 保守

- ①サーバー・ネットワーク障害等の全般的な対応窓口を準備し迅速に対応する体制を作ること。
- ②組織改編時には、共有フォルダのアクセス権変更に対応すること。
- ③新年度の初日には、本会に訪問し新年度対応作業を実施すること。
- ④年度内に組織改編及び人事異動の発生時もアクセス権の変更に対応すること。
- ⑤5年間の標準保証完了後の延長保証契約が出来ること。

現行サーバーを移行した場合の仕様

サーバー	2台（メイン・サブ）
機能等	以下のとおり（必須HDD容量以外）
必須HDD容量	メイン：6TB以上、サブ：1TB以上 ※実必要容量とする。
構成・機能、クライアント設定、運用/保守	別添のとおりに

機能等

参考型番	PRIMERGY TX1330 M4
ベースユニット形状	ベースユニット(3.5インチ/500W電源×1)以上
設置方式	タワー型
CPU	ソケット数 1以上
	搭載CPU インテル®Xeon®プロセッサ E5-2440(2.40GHz, 6コア/12T, 15MB, 1333MHz, 7.2GT/s, 95W)以上
チップセット	Intel C246
システムボード	D3673
メインメモリ	搭載可能メモリ 2666 UDIMMが使用可能なこと
	スロット数 4 (2666 UDIMM) 以上
	最大容量 128GB (2666 UDIMM) 以上
	必須メモリ容量 12GB以上
画面制御機能	リモートマネジメントコントローラ内蔵、VRAM：8MB（オプション適用時：最大2048MB）
グラフィック表示機能	640×480 / 800×600 / 1024×768 / 1280×1024 / 1600×1200ドット
内蔵3.5インチベイ	ベイ数 4（オプション適用時）[ホットプラグ対応]以上
	SAS HDD 9.6TB以上
最大容量	SATA HDD 56TB以上
内蔵2.5インチベイ	ベイ数 HDD/SSD：8（オプション適用時）[ホットプラグ対応]以上
	SAS HDD 19.2TB以上
最大容量	SATA SSD 61.44TB以上
内蔵5インチベイ	ベイ数 3以上
	内蔵ODD オプション(Slim ODD/HH ODD)
拡張バススロット	
ストレージコントローラ	SASアレイコントローラー以上
ネットワークインターフェース（オンボード）	2ポート(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T択一)以上
インターフェース	ディスプレイ(アナログRGB)×1、シリアルポート(D-SUB9ピン)×1、USB×10[USB3.1(Gen1：前面×2 / Gen2：背面×2 / Gen1：内部×2)、USB2.0：背面×4]
キーボード/マウス	日本語109キーボード/USB光学式マウス
ハードウェア監視	コンポーネントランプ[オプション(LCDパネル)]
	ソフトウェア ServerView Suite(ServerView Operations Manager&ServerView Agents)
リモートサービス機能	標準搭載(リモートマネジメントコントローラ)
	専用コネクタ Management LAN 1ポート[前面:1(オプション)/背面:1](1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T択一)
セキュリティチップ	オプション(TPM2.0モジュール：TCG準拠)
電源	標準搭載 [電源ユニット<300W> (80PLUS® Gold認定取得)]:1(最大1)
	入力電圧 AC100V(50/60Hz) / 平行2Pアース付き[NEMA 5-15準拠] (最大1)
	消費電力 AC200V：最大317W / 1,141.2kJ/h、 AC100V：最大326W / 1,173.6kJ/h
エネルギー消費効率(2021年度基準)	15.0 (区分1)
外形寸法[W×D×H]	177×5353[560(突起部含む)]×455[mm] 以下であること
質量	最大29kg以下であること
使用環境	周囲温度：5～45℃ / 湿度：10～85% (ただし結露しないこと)
インストールOS/バンドルOS	オプション(Windows)
サポートOS	
標準保証	5年間の当日訪問保守をメーカー認定を受けた者が対応すること
備考	・RAID 1(HotSpare) 搭載のこと

構成・機能、クライアント設定、運用/保守

項目	内容
サーバー構成/機能	<p>Windows Server 2022 Standard OS開封</p> <p>Active Directory (認証機能)</p> <p>既存サーバー環境調査</p> <p>既存ファイルサーバーからのデータ移行</p> <p>共有フォルダのフォルダアクセス権設定</p> <p>既存Active Directoryからの移行、ただし、Active Directoryは必須では無い。 各フォルダへのアクセス管理を行うこと。</p> <p>ドメインコントローラーの冗長化 (サーバー正・副の2台構成)</p> <p>Windows Storage Server 2022運用の共有フォルダを新サーバーへ統合</p> <p>外部ストレージバックアップ環境構築</p> <p>アンチウイルス管理機能</p> <p>仮想サーバ(Skyサーバー用、120クライアント)の稼働</p> <p>現サーバー版ウイルスバスターApexoneの保守 (120クライアント) ※</p> <p>※セキュリティソフトについては、ウイルスバスターが必須では無いが、同等の機能を持つものを必ず導入すること。その場合の導入、クライアントへの設定及び保守経費を見積もること。現ウイルスバスターを使用する場合は、継続ライセンスの中で費用を見積もること</p> <p>Fortigate60F UTMプロテクション版 導入・設定・保守</p> <p>SKYSAE環境設定</p>
クライアント設定	<p>クライアントPC約120台 (デスクトップPC80台、ノートPC40台)</p> <p>Fortigateを活用したテレワーク用リモート設定</p> <p>メールクライアントのIMAP対応考慮</p> <p>社会福祉法人会計システム用認証ドライバ確認</p> <p>アンチウイルスアップデート更新確認</p> <p>SKYSEAクライアントインストール</p> <p>二要素認証サインイン対応考慮</p>
運用/保守	<p>完了日 (令和5年3月31日)</p> <p>ただし、機材の搬入等により履行が困難な場合は、令和5年4月1日より現行のファイルサーバーによるネットワーク保守をしつつ、令和5年9月30日までに移行を完了させるものとする。 システム初期設定については、決定業者との協議により設定を行うものとする。</p> <p>サーバー引き渡し後の運用立会 (稼働初日)</p> <p>問い合わせ・障害窓口あり</p> <p>旧サーバーの廃棄 (ハードディスクデータ消去含む)</p>
その他	<p>新たにPC、プリンタを購入又は入替を行う場合の1台当たりの設定料を別途見積もること。</p> <p>また、テレワーク用ノートPCの設定を別途見積もること。</p>